

## JERコンクリート補改修協会

# 少子化時代へ総合技術で貢献

### 会長 佐藤 匡良



令和3年度末における全国の汚水処理人口普及率は92.6%に達し、下水道施設のストックマネジメントの充実とともに、自然災害に備えた施設の防災・減災・予防対策も直近の課題となっており、長期的な予算確保が求められています。

同時に「少子高齢化」による建築・土木業界の管理者不足、職人不足も社会の成長課題となっている中、当協会は、下水道関連コンクリート処理水槽等の硫化水素に起

因する硫酸腐食劣化対策として、耐用年数50年を誇るライフサイクルコスト低減型の「ジックボード工法」をはじめ、施工環境に影響を受け難く、工程短縮が実現できる高耐硫酸性モルタル工法など、直近の課題にも目を向け、協会認定工法のラインナップの充実を図っております。

当協会は、下水道関連施設の長寿命化対策に取り組む専門技術者集団として、総合技術力で社会に貢献してまいります。